

平成28年度

第1回国有林モニターアンケート 結果概要 (東北森林管理局)

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様の意見等の適確な把握とそれらの意見を反映した管理経営の推進のための取組の一つとして国有林モニター制度を設けています。

この度、平成28年8月～平成28年9月に、平成28年度第1回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果概要についてお知らせします。なお、自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

○ アンケートの実施概要

発送 : 平成28年8月15日

回答期限 : 平成28年9月5日

回答率 : 97%(34人中33人回答)

※希望される方には電子ファイルでのアンケート配布・回答を実施。

33人中2人の方が電子ファイルを用いてメールにより回答。

ご協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

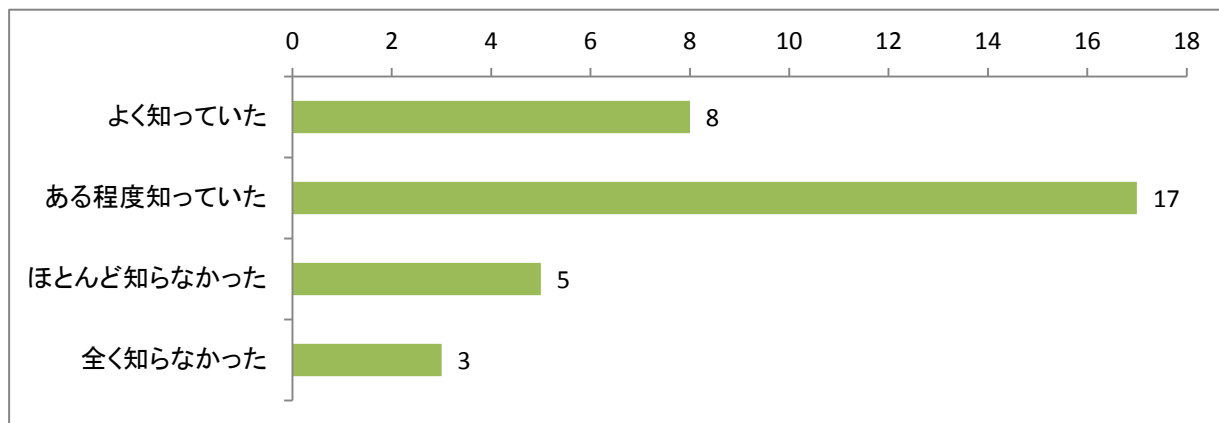
国有林モニター制度とは、アンケートの実施や国有林モニター会議の開催等を通じて意見を伺うほか、広報・パンフレット等で情報提供を行うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

現在、平成28年4月～平成30年3月の2年間を任期として、管内5県の34名の方にモニターに着任して頂いております。

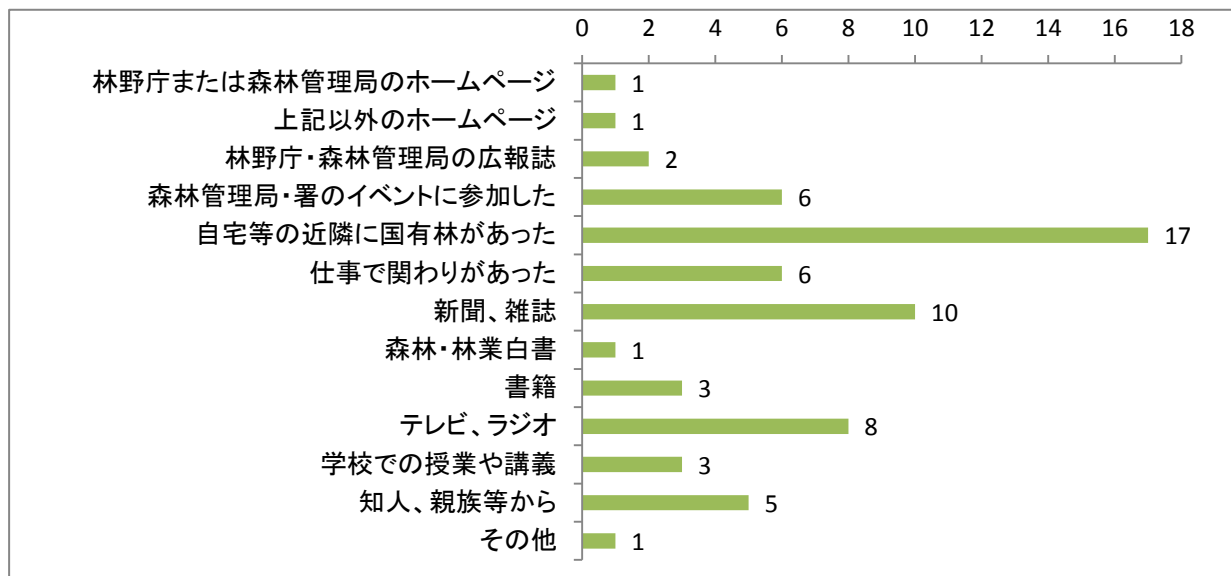
1 国有林について

国有林モニターの皆様の、国有林に対するご関心、イメージ、ご要望等に関して、以下の問いにお答え下さい。

問1 国有林モニターに応募する以前から、「国有林」について知っていましたか？



問2 問1で「よく知っていた」または「ある程度知っていた」と回答された方にお聞きします。国有林についてどのような情報を元に知りましたか。（複数回答可）



（「その他」の意見）

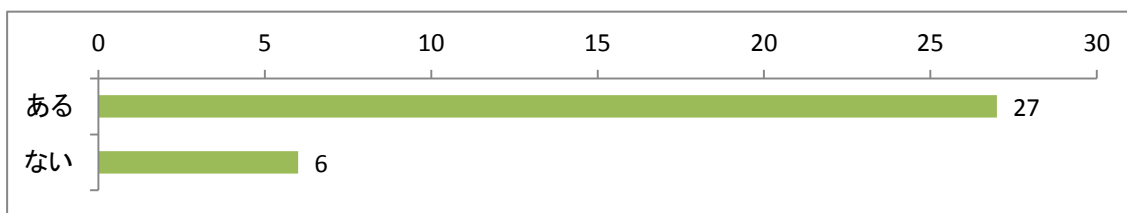
- ・分収育林で関わりがあったため

問3 問1で「よく知っていた」または「ある程度知っていた」と回答された方にお聞きします。国有林についてどのようなイメージを持っておられましたか。

(意見の概要)

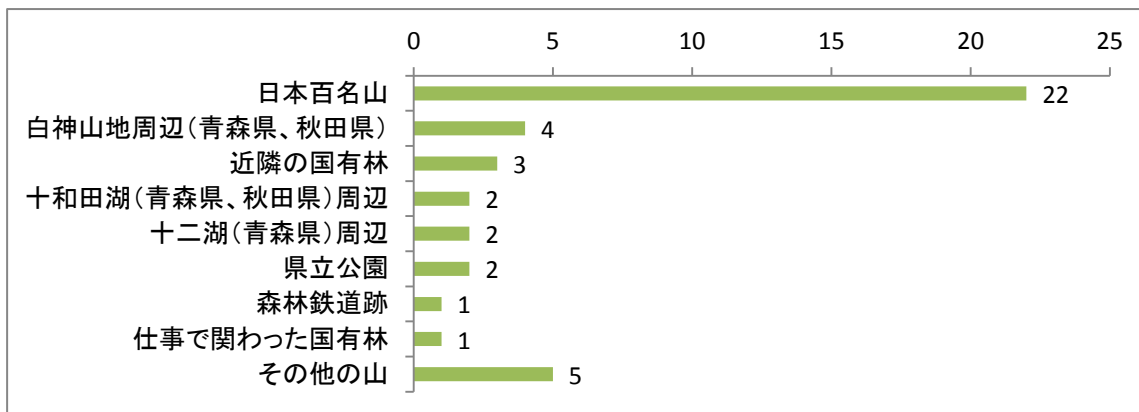
- ・国民の貴重な財産。
- ・国で管理、管轄している森林で、たやすく開発や伐採の許可等をとるのが難しい。
- ・誰でも自由に入出りできる。
- ・一般の人にとっては国有林成立の経緯等は分かりづらく、遠い存在。
- ・手入れがよく行き届いており、計画的に伐採、植栽が行われている。
- ・国立公園、国定公園と密接な関わりがある。
- ・環境保全・国土保全の観点から、森林や自然の保護を行っている。
- ・森林は、水と空気の源であり癒しの緑でもある。緑を守りながら資源として活用を図ることも大事。
- ・昔、分収育林から出た雑木をもらってストーブに使っていて、ありがたいと思っていた。
- ・考えたことが無かった。

問4 国有林に行ったことはありますか。(国有林モニター現地見学会は除きます。別途お送りしている、東北森林管理局管内図等を見てお答え下さい。)

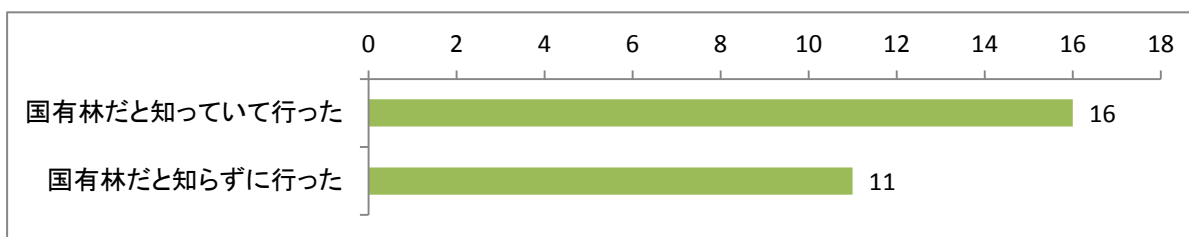


問5 問4で「ある」と回答された方にお聞きします。どちらの国有林に行かれましたか。(別途お送りしている、東北森林管理局管内図等を見てお答え下さい。)

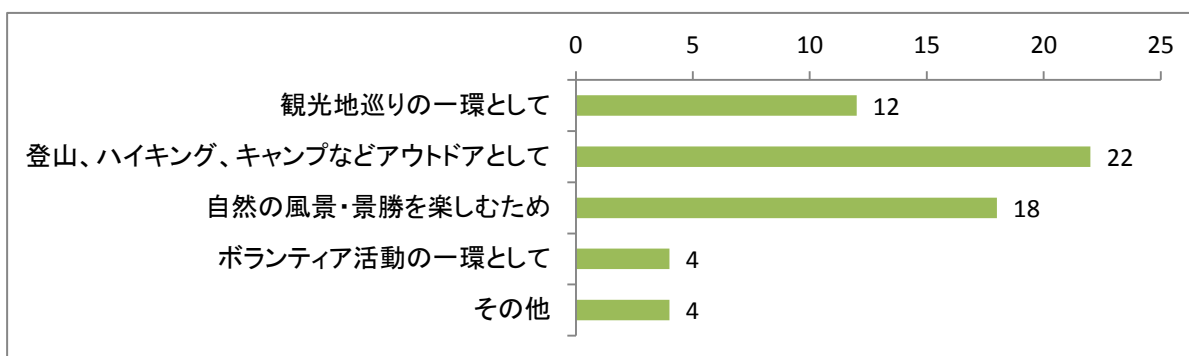
(回答の概要)



問6 問4で「ある」と回答された方にお聞きします。行かれた場所が「国有林」であるとそのとき知っていて行かれたか。



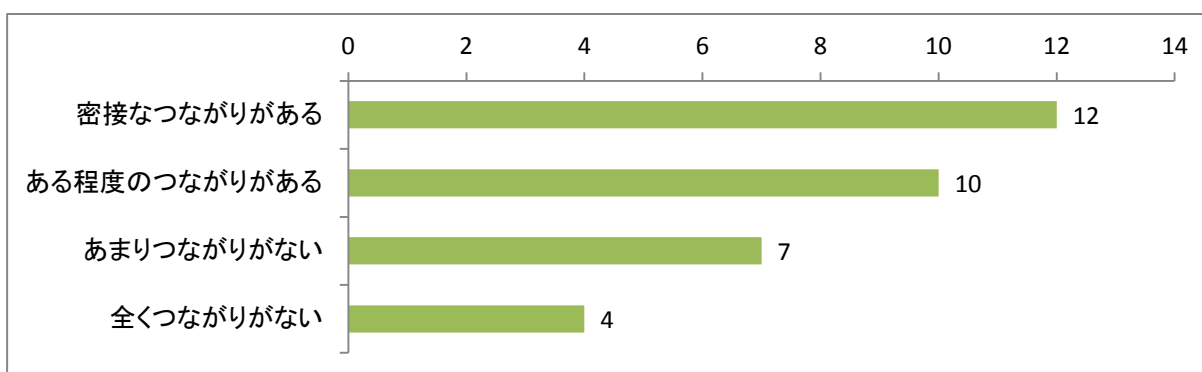
問7 問4で「ある」と回答された方にお聞きします。何を目的に国有林に行かれましたか。(複数回答可)



(「その他」の意見)

・仕事(2名) ・竹の子、山菜採り(2名)

問8 ご自身の普段の暮らしと、国有林との関係について、どのように感じておられますか。以下から最も当てはまるものをお選び下さい。また、そう感じられる理由について、ご自由にお書き下さい。



(密接なつながりがある、ある程度につながりがある の理由)

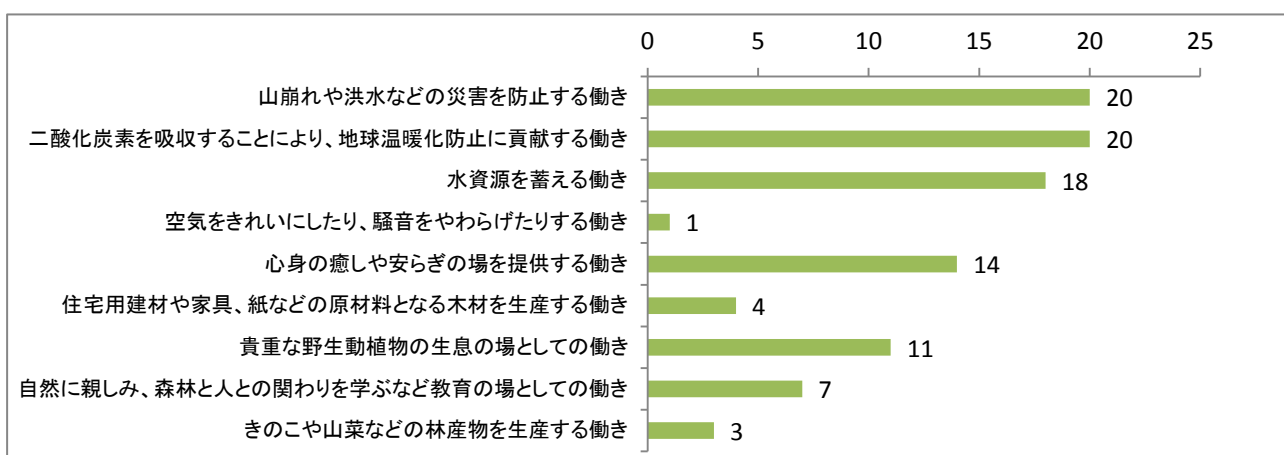
- ・勤務先の近くが国有林だから。
- ・国有林が、山崩れや災害の防止、水資源の確保、生物多様性の保全、木材供給に重要であるから。
- ・登山、観光、ハイキングをする上で重要な土地で、雄大な木々を見ていると最高に気分が良いから。
- ・子どもの頃から国有林の近くで暮らしており、山菜やキノコ等の山の恵みを受けることが当たり前の生活をしているため。
- ・日本百名山百座のうち、91 座が国有林に存在していることを知り、百名山に登ることは国有林の中を歩くことだと再認識したから。

(あまりつながりがない、全くつながりがない の理由)

- ・身近に国有林がないから。
- ・国有林が自分たちの生活に直接つながっていないため。
- ・国有林にアウトドアの場として訪れることはあっても、国有林と意識することはないから。
- ・国有林に行くことがないから。

問9 国有林が今後、どのような働きを果たすことを期待しますか。

特に当てはまるものを最大3つまでお選び下さい。



問10 国有林の及び東北森林管理局の取組に対して望むこと等について、ご意見

がございましたら、ご自由にお書き下さい。

(意見の概要)

- ・取組が一般の方に広く周知されているとは言い難いので、きめ細かな広報活動をすべき。
- ・イベントの積極的な実施・周知をしてほしい。
- ・登山道の整備をもっと行ってほしい。
- ・林地残材や、放置された丸太をなくす指導をしてほしい。
- ・民有林との連携をもっと積極的に行うべき。
- ・シカ対策を積極的に行うべき。
- ・森林の調査等でヘリコプターを積極的に利用すべき。
- ・各地に国有林の公園をもっとつくってほしい。

「1 国有林について」のまとめ

○ 国有林の認知度について

33人中25人(76%)の方が、モニターになる以前から国有林について「よく知っていた」又は「ある程度知っていた」とお答えになりました。そのきっかけとして一番多かったのは「自宅等の近隣に国有林があった(17票)」であり、次いで「新聞、雑誌(10票)」、「テレビ、ラジオ(8票)」といったメディアの影響でした。一方、当局の広報媒体の中心である「ホームページ(1票)」や「広報誌(2票)」を挙げた方は少ないという結果になりました。

○ 国有林の利用について

33人中27人(82%)の方が、日本百名山等の国有林内に行ったことがあるとお答えになった一方で、そのうち11人の方が国有林だと知らずに行ったとお答えになりました。登山等で国有林を利用される方は多いのですが、国有林だと意識せずに利用する方も一定数いらっしゃる事が分かります。

○ 国有林と普段の暮らしとの関係について

22人の方(67%)が「密接なつながりがある」「ある程度につながりがある」、11人(33%)の方が「あまりつながりがない」「まったくつながりがない」とお答えになりました。

つながりを感じる理由としては、登山や山菜採り等、身近に国有林があって直に接する機会があることのほか、災害防止・水資源の確保・生物多様性の保全・木材供給等の森林が持つ機能が挙げられました。

一方、つながりがないと感じる理由としては、身近に国有林がない、国有林が自分の生活に密接に関わっていない等の声がありました。

○ 国有林に期待する働きについて

1位は「災害を防止する働き(20票)」、同数で「地球温暖化を防止する働き(20票)」、3位は「水資源を蓄える働き(18票)」でした。これらは前述のとおり国有林と普段の暮らしとのつながりを感じる森林の機能として挙げられた要素でもあり、モニターの方々がこれらの機能を大切と感じておられることが分かります。一方で、「木材を生産する働き(4票)」とお答えになった方は少なく、戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎え、国有林では木材の安定供給に力を入れているものの、まだ理解が深まっていないことが分かりました。

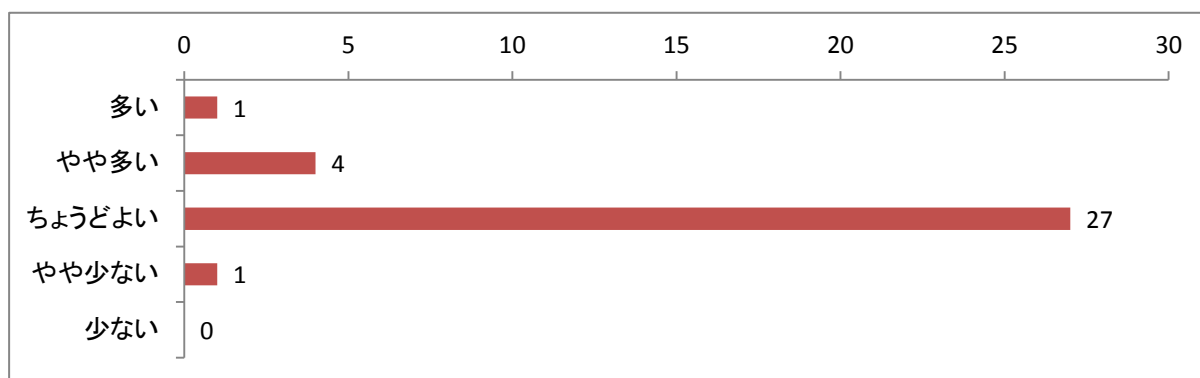
◎ 総括

国有林モニターに応募される方々には、国有林はある程度認知・利用されていたことが分かりました。要因として一番大きかったのは、国有林が身近に存在しているというものでしたが、反面、身近に国有林がなく普段の暮らしと国有林のつながりが感じられないという声もありました。当局の広報媒体の中心であるホームページや広報誌で国有林を知ったというご意見が少なく、問10の自由記載欄では広報活動が不十分とのご意見をいただいたことから、国有林が身近にある・なしに関わらず、国有林の理解を深めていただくためにも、今後より広報活動を工夫していく必要があると考えております。

2 毎月の配布資料について

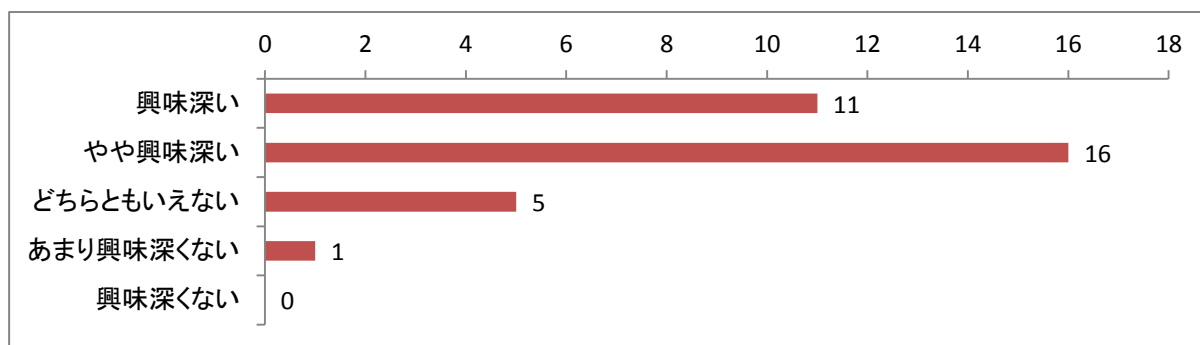
4月よりモニターの皆様にも月1回お送りしている、広報誌等の資料に関するご意見・ご感想について、以下の問いにお答え下さい。

問1 1回あたりの資料の分量について、どのように感じておられますか。

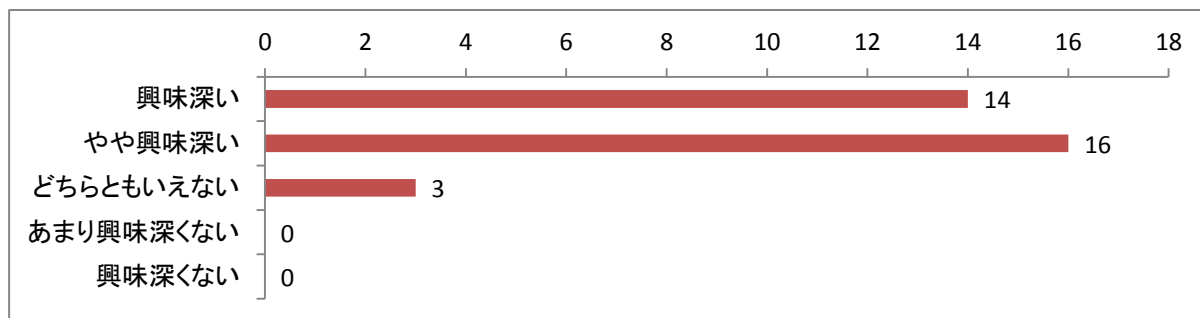


問2 毎月お送りしているそれぞれの資料について、最も当てはまるものをお選び下さい。

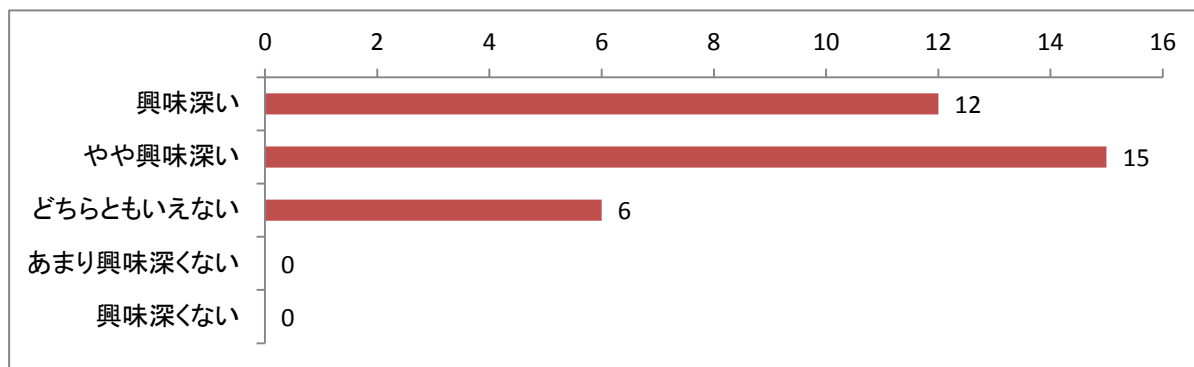
○林野庁広報誌「RINYA」



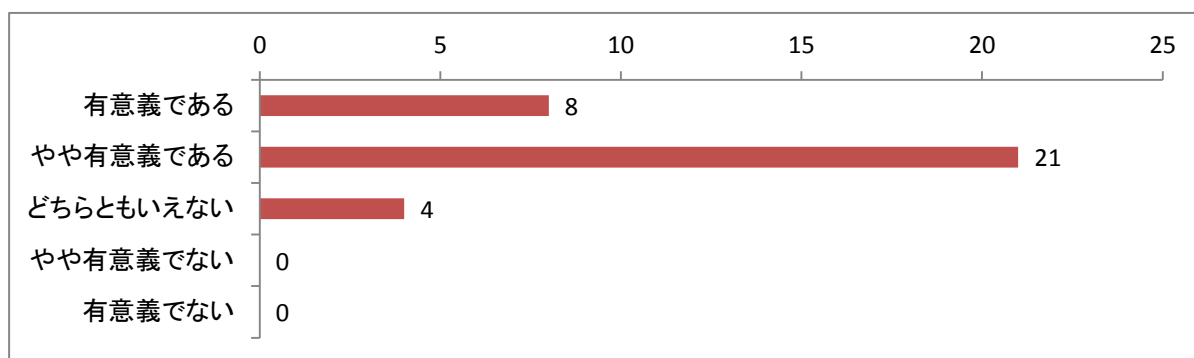
○東北森林管理局広報誌「みどりの東北」



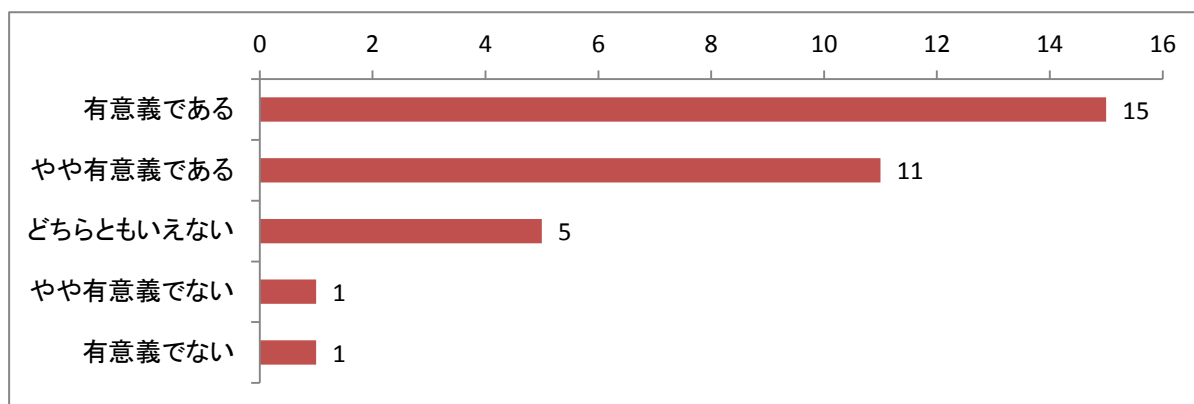
○今月の特集(毎月、森林・林業・木材産業に関する基礎知識について、森林・林業白書等を参考に記載して、モニターの皆様にお送りしているもの。)



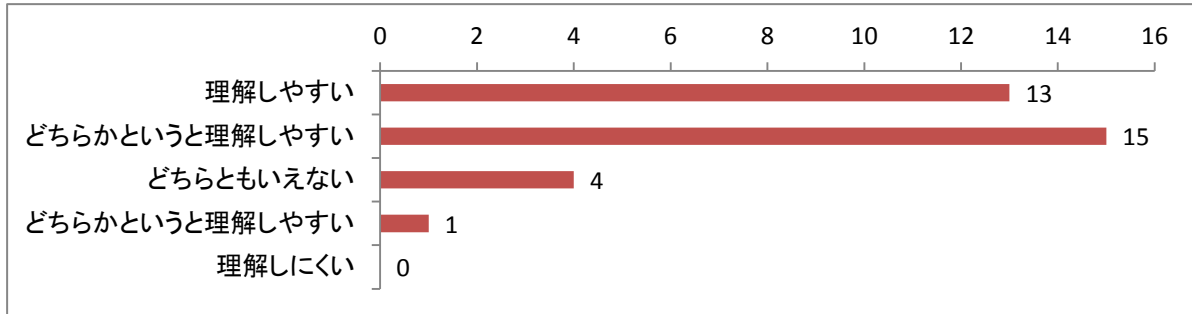
問3 「今月の特集」の内容について、最も当てはまるものをお選び下さい。



問4 「今月の特集」の「解らない用語調査(「今月の特集」でもっと詳しく知りたい用語があった場合に回答していただく調査用紙)」について、最も当てはまるものをお選び下さい。



問5 「今月の特集」の「解らない用語調査に対するご回答（前月に行った「解らない用語調査」で回答された用語について解説するもの）について、最も当てはまるものをお選び下さい。



問6 毎月お送りする資料について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書き下さい。

（意見・要望の概要）

- ・普段、目にする資料でないため興味深い。
- ・解らない用語調査に対する回答等は良く説明されている。
- ・広報誌については、統計資料やカラー写真が随所に配置されて、見やすく説得力がある。
- ・情報量をより多く、詳しく発信することはよいことだが、情報が多くなりすぎると、読みにくくなる。高齢者も読んでいるだろうから、情報を精選し文字を大きくするなど校正を工夫してほしい。
- ・一般の方にはなじみのない専門用語は、解らない用語調査で後からフォローするのでは無く、あらかじめ広報誌の中に解説や注釈をつけた方が理解しやすいと思う。
- ・国有林について興味がある方、ある程度知識がある方なら読み応えがあるかもしれないが、漫画やイラスト形式のストーリー仕立てにすることで、興味あまり無い方もより興味を持ちやすかったり、分かりやすくなったりするのではないか。
- ・山村部に住む方の山に対する向き合い方や、森林に関する行事・ボランティア活動、山の神様に関する祭事の地域による違いについて特集してほしい。
- ・広報誌には、林野庁や国有林だけでなく、森林全般の内容も掲載してほしい。
- ・広報誌には、新聞やTVでは全く取り上げてない情報を多く発信してほしい。

「2 毎月の配付資料について」のまとめ

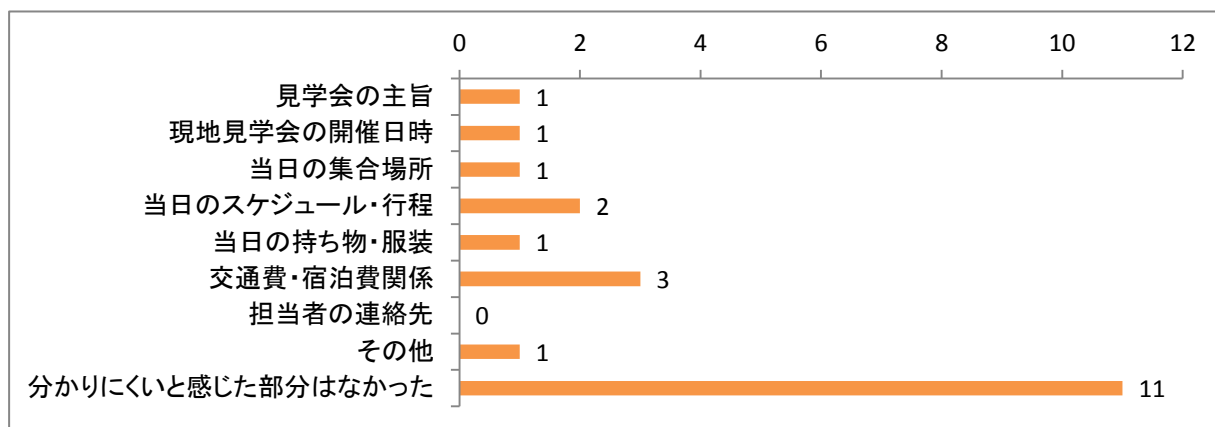
いずれの配付資料も、モニターの皆様にとって概ね興味深く有意義な内容であることが分かりました。今後も引き続き、資料の配付を通して充実した情報の発信に努めてまいります。

一方で、情報の分量が多いのもっと精選してほしいというご意見や、専門用語には注釈をつけてほしいといったご意見もいただいたので、今後より解りやすい資料の作成に努めてまいります。

3 現地見学会について

7月28日（木）に開催した現地見学会について、ご参加いただいた皆様（参加者18名、うち回答者17名）は、ご意見等をお聞かせ下さい。また、ご参加されなかった皆様（不参加者16名、うち回答者16名）は、問8・問9のみにお答え下さい。

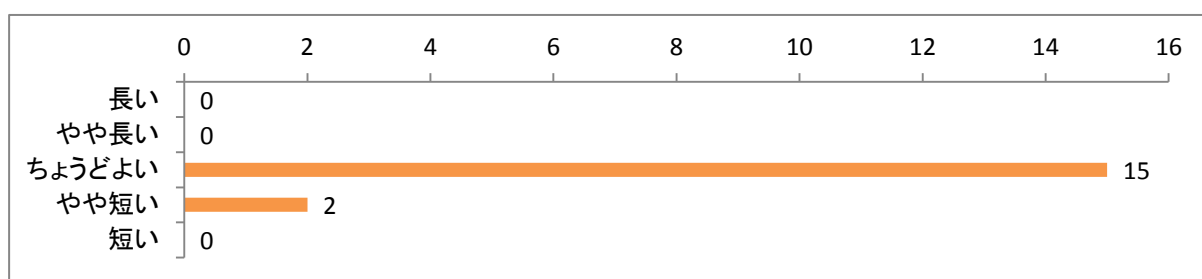
問1 見学会当日までにお送りしたご案内等について、分かりにくいと感じられた部分についてお答え下さい。



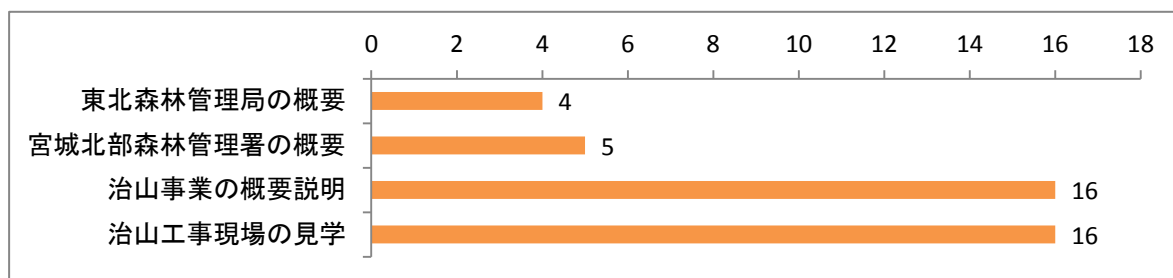
（「その他」の意見）

- ・開催日を早めに通知してほしい

問2 当日の見学行程（時間）について、どのように感じられましたか。

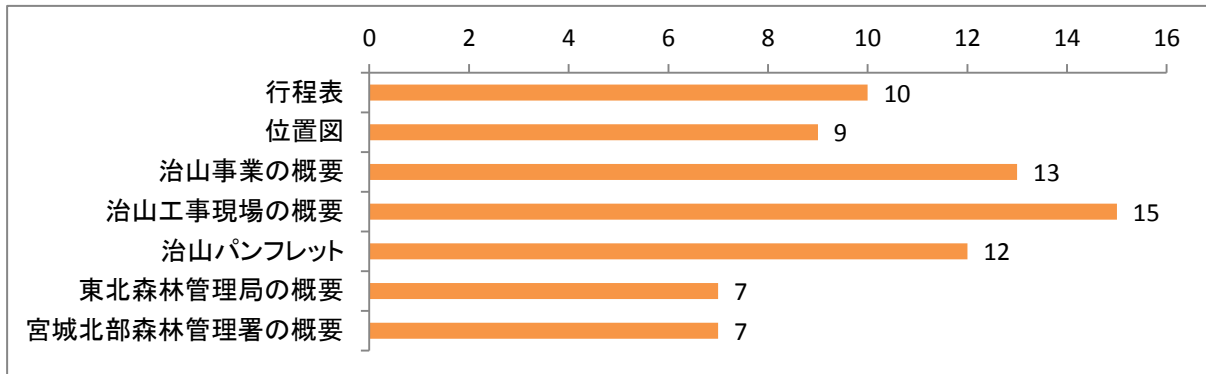


問3 各見学行程について、興味深いと感じられたものをお答え下さい。（複数回答可）

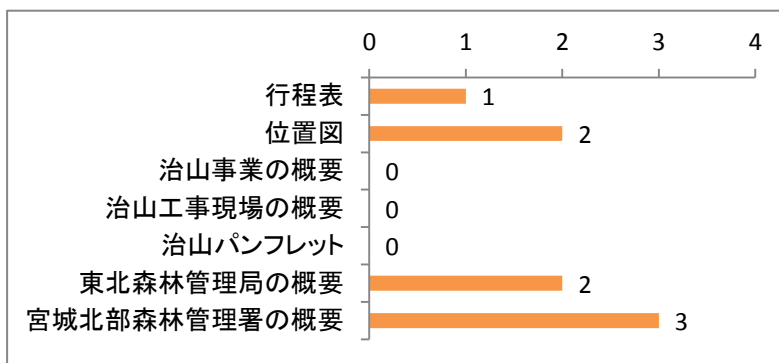


問4 当日お配りした資料のうち、分かりやすいと感じたもの、分かりにくいと感じたものについて、それぞれ当てはまるものをお答え下さい。(複数回答可)

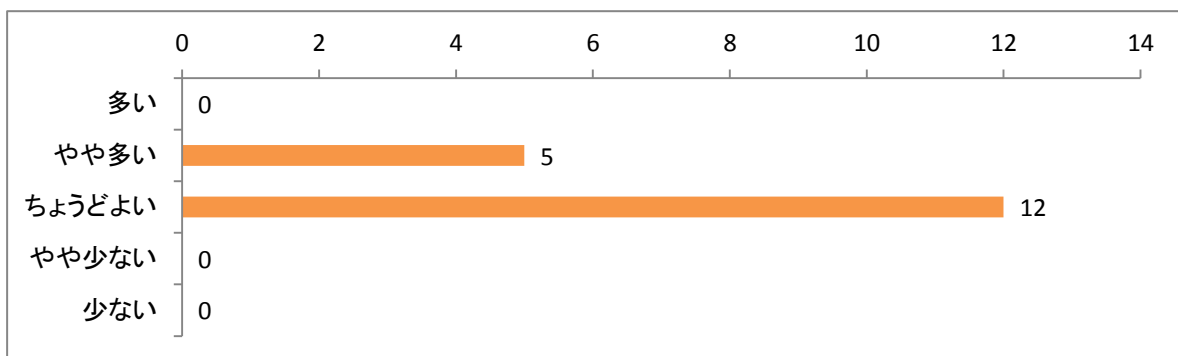
(分かりやすいと感じたもの)



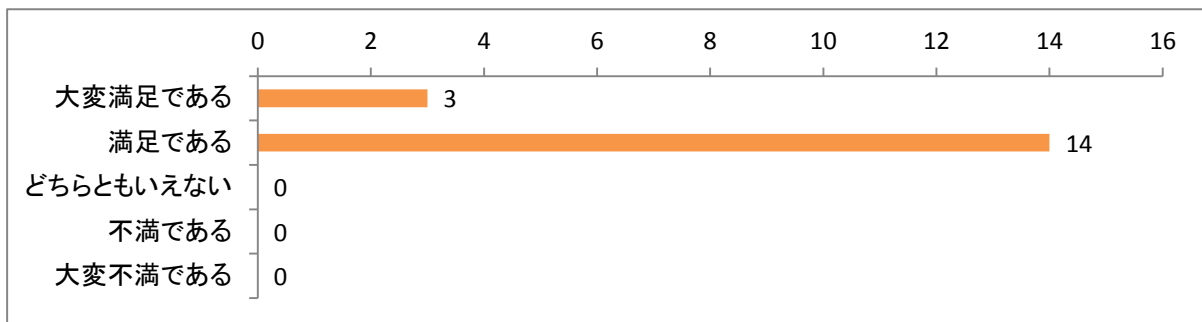
(分かりにくいと感じたもの)



問5 当日お配りした資料全体の分量について、最も当てはまるものをお答え下さい。



問6 今回の現地見学会全体を通しての満足度について、お答え下さい。



(「大変満足である」、「満足である」の理由概要)

- ・説明が大変分かりやすかった。
- ・現場で担当者から直接説明を聞くことが出来た。
- ・治山事業を実際に見ることが出来た。
- ・毎月送付資料だけでは分かりにくい現地の様子が分かった。
- ・資料が充実していて内容も分かりやすくまとめられていた。
- ・行程、見学時間が適切だった。

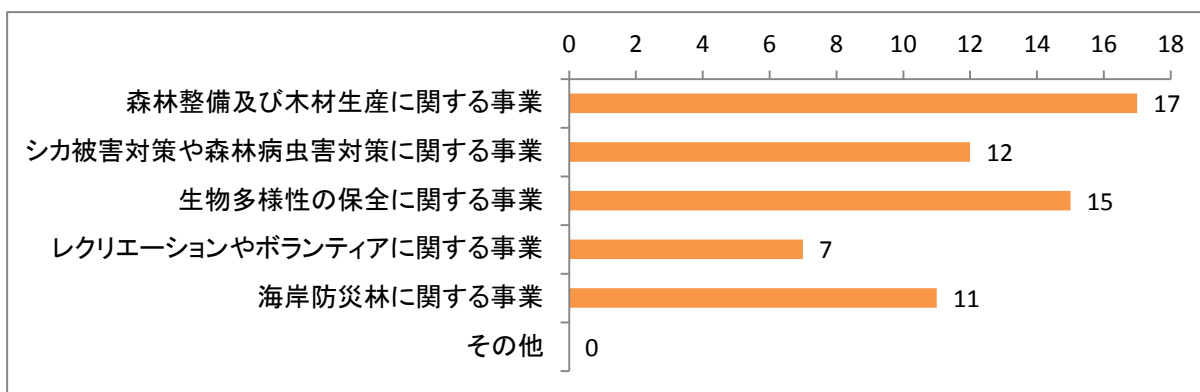
問7 今回の現地見学会についてご意見、ご感想、ご質問等がございましたら、

ご自由にお書き下さい。

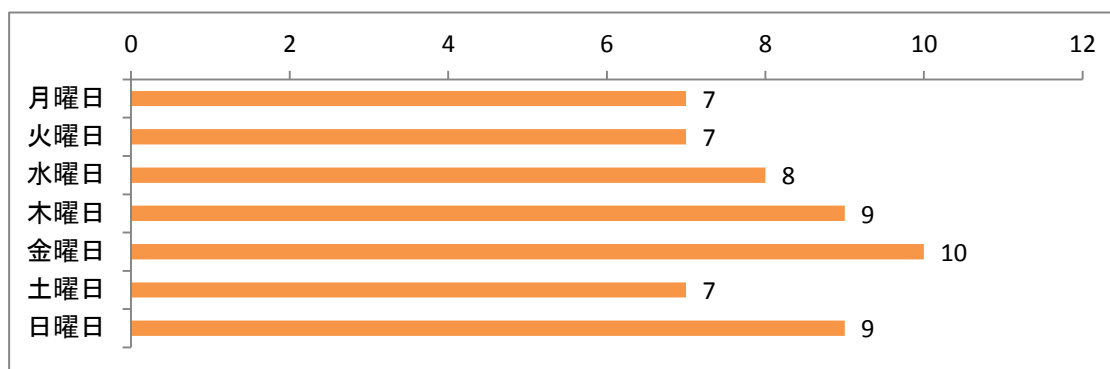
(意見の概要)

- ・現地見学会開催地域を紹介する機会にもなるので、他の機関(地元市役所等)の資料活用をしてもよいのではないか。
- ・資料の分量が多すぎてめくるのが大変だったので、工夫してほしい。
- ・昼食時の場所を事前に詳しく説明してほしい。
- ・現地見学会終了後に、希望者が参加する交流会を企画してほしい。
- ・現地見学会を有効活用するために、現地見学会のアンケートに関しては、当日に時間をとった方がよいのではないか。アンケートをなるべく早く実施した方がよい。
- ・次回は実際の作業等を行っている現場を見学したい。
- ・現地見学会の日程は、早く周知してほしい。

問8 今後、第2回目以降の現地見学会を開催するにあたり、見学してみたいと思う内容について2つまでお選び下さい。



問9 第2回目以降の現地見学会の開催日程について、希望する曜日を2つまでお選び下さい。



「3 現地見学会について」のまとめ

今回の現地見学会全体としては、全員が「大変満足である」、「満足である」とお答えになり、特に治山事業の実際の現場見学や説明に興味を持っていただけたことが分かります。一方で、当日の配付資料の分量が多い等の意見もいただきました。また、次回以降の現地見学会については、森林整備・木材生産に関する事業を見たいというご意見が一番多くなりました。モニターの皆様のご意見やご要望を、今後の現地見学会開催に役立てまいります。

4 今後の国有林モニター活動について

任期中、モニターの皆様にご協力をお願いする活動として、現在の予定としては、アンケート、現地見学会、モニター会議を予定しております。これらの活動以外に、東北森林管理局または森林管理署に企画してほしい活動や、モニターとして実施したいとお考えになる活動等がございましたら、ご意見・ご要望をお書き下さい。

(意見・要望の概要)

- ・森林を活用したレクリエーション、ボランティアのためのプラットホームを作ったり、イベントや体験活動の広報を積極的に実施したりするべきだと思う。
- ・森林の多面的機能の意義をさらに地域や社会に知っていただかないと、重要性が下がってしまう。
- ・国有林の職員が講師として、国有林野事業に関する講演会を企画してはどうか。
- ・今年度から「山の日」ができたので、日本百名山等に関する企画をもっと行ってほしい。
- ・現地見学会の必要性が分かったので、モニターだけでなく広く市民への見学会を実施してほしい。
- ・現地見学会は、場所によっては参加しづらいことがあるので、参加出来なかった方には、現地映像配信等を行った上で、アンケートに答えられるようにすると良いのではないかな。
- ・モニターアンケートでは意見や感想を聞くだけでなく、毎月送付資料等に関連したクイズを出題する等の工夫があった方が面白い。

最後に、今回アンケートに御協力いただきましたモニターの皆様に、再度御礼を申し上げますとともに、寄せられた意見を元に、国有林野事業をより良くしていけるよう努めてまいります所存です。